

まちの話題



更生之素が空を飛びます！

7/11



航空会社・ソラシドエア（本社：宮崎市）で、8月から伊佐農林高校の『更生之素』が機内販売されます。販売開始を前に、伊佐農林高校2年貴島翔太さんと和田純平さん及びソラシドエアの関係者等が市役所を訪れ、市長に報告しました。ソラシドエアが高校生の商品を機内販売することは初めての試みで、更生之素を食べた同社社員から機内販売に向けた提案があり、実現したとのこと。

観光や帰省のシーズンでの企画でもあり、大きなPR効果が期待できます。

がね、食べて！

6/15



菱刈カヌー競技場で開催された全九州高等学校カヌー競技大会の会場で、湯之尾小学校の児童ら約40人が、鹿児島県の郷土料理『がね』を振る舞うおもてなしを行いました。大会を盛り上げようと湯之尾校区コミュニティ協議会が企画し、約200食を手作りしました。

子どもたちは、「がね、どうぞ！おいしいですよ！」と元気いっぱいにお客さんを配布ブースに呼び込みました。県外から来て、はじめて『がね』を食した人は、「不思議な形だが、芋が甘くてとてもおいしい」と嬉しそうに話していました。

子どもたちと豊作を祈願

7/7



南永小学校で『さなぼりまつり』が開催され、児童8人と永池棒踊り保存会の皆さんによる勇壮な棒踊りが披露されました。

さなぼりまつりとは、早苗（さなえ）の田植えが無事終了したことを祝うまつりで、毎年開催されています。

南永小学校では、総合学習として田植え体験にも取り組んでおり、地域の方々と世代を超えた交流をとおして、子どもたちの豊かな感性を育てています。

鹿児島名菓の原料つくっています

6/26



農事組合法人下市山が、明石家菓子店ら関係者との田植え交流会を開催しました。

地元の農家と菓子店職員ら約40人が参加し、加工用米を植え付けました。

農事組合法人下市山が栽培する「彩南月」という品種は、低アミロースで粘りが強く、かるかんなどの和菓子の原料に適しています。

近年、彩南月の需要が高まっており、安定供給が実現すればさらなる販路の拡大も期待されています。

社会を明るくする運動

7/1



7月の『社会を明るくする運動』運動強調月間に合わせ、伊佐市役所大口庁舎でメッセージ伝達式が行われました。

伊佐保護区保護司会の代表者が、総理大臣と鹿児島県知事からのメッセージを市長に伝達した後、市内で広報活動を行い、再犯のない明るい社会づくりを市民に呼びかけました。

川中島の合戦の大迫力

7/7



伊佐市出身の俳優榎木孝明さんによる朗読劇『天と地と』が伊佐市文化会館で開催されました。

上杉謙信の半生を描く海音寺潮五郎先生の名作『天と地と』の世界観を、戦国武将さんながらの榎木さんの朗読と、竹内永和さんのギターの音色が巧みに表現し、来場者は時間を忘れて聞き入っていました。

榎木さんは「今後もふるさと伊佐を盛り上げるような活動を行いたい」と、意欲を語りました。

選手のように大きく育て

6/23



菱刈中学校前の田んぼで、『田んぼ de レブナイズ』が開催されました。このイベントは、伊佐市とまちづくり推進協定を結んでいるプロバスケットボールクラブ鹿児島レブナイズの選手と一緒に田植えをして、クラブの応援と伊佐米のイメージアップに繋げようと企画されました。

主催者の小北剛さんは、「選手との交流の機会を大切にして、田植えも楽しんでください」と呼びかけ、市内外から参加した約100人のブースター（ファン）は、手作業で苗を植えた後、伊佐米と湧水町産米のおにぎりに舌鼓を打ちました。

10月22日には、稲刈りイベントも開催される予定です。